

多くの地域の学校等とWin-Winの関係を築く「学校実習マッチングシステム」

本学の学校実習は、実践の省察を行う専門科目と、成果の還元を行う専門科目とを有機的に関連づけ「**学校支援プロジェクト**」として実施しています。

この「学校支援プロジェクト」の実施に当たっては、開学以来、連携・協力体制を構築している地元上越市及び近隣の妙高市、糸魚川市そして柏崎市の4市教育委員会並びに4市校長会と本学が学校実習を協働実施する「**学校実習コンソーシアム上越**」を設立し体制の強化を図ってきました。

<多くの地域の学校等とWin-Winの関係構築プロセス>

- ①本学の各領域・分野の教員が作成した「**連携提案書**」を各学校等が自らの課題との関連を踏まえて検討し、**自主的・主体的に**「**連携希望書**」を大学に提出
- ②「**連携希望書**」を踏まえて学内で連携チームを編成する（**マッチング作業**）
- ③「**学校実習コンソーシアム上越**」において最終調整

このように「**連携協力校**」が**予め決定されているのではなく**、学校現場等との“**健全な緊張関係**”を保ちながら各学校現場等の課題解決に参画する**連携チーム**と**当該年度の「連携協力校」**が決定されます。

令和5年度は、**192件**の連携希望があり、連携協力校数**103校**、連携チーム数**149チーム**、参加学生数延べ**455人**の大規模な学校実習を実現しています。

マッチングの進め方(流れ)

